

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	—	SGT吸込口位置の変更について説明すること。	2022/4/27	SGT吸込口位置の変更について説明した資料NS2-補-011改04「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6を2022/2/21の第97回設工認ヒアリングにて説明済みです。	NS2-補-011改04「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6	
2	2022/1/20	NS2-他-027	適正化リスト	島根原子力発電所第2号機工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)	—	適正化理由が分かるように記載を検討すること。	2022/4/27	適正化理由を追加した資料NS2-他-027改01「島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)」を2022/2/3の第77回設工認ヒアリングにて説明済みです。	NS2-他-027改01「島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)」	
3	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.86	シルトフェンス予備の設置場所の記載を検討すること。	2022/4/27	シルトフェンスの保有量及び予備の保管について記載を適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.49 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.88	
4	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.13	負圧破損防止に関する相違理由について、記載を検討すること。	2022/4/27	相違理由について、事象発生後7日間は負圧にならないことを確認している旨追記し、適正化しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.1,13	
5	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.9	2.1設計基準事故時における基本方針について、記載を検討すること。	2022/4/27	文意として、残留熱除去系(格納容器冷却モード)に係る記載は不要であることから、当該部分の記載を削除し、適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.1 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.9	
6	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.30	ドライウェル及びサブプレッションチェンバの外面に受ける最高の圧力に関する記載を検討すること。	2022/4/27	ドライウェル及びサブプレッションチェンバの外面に受ける最高の圧力の根拠について、記載を適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.10 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.30	
7	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.32	衝撃試験の合格基準について、記載を検討すること。	2022/4/27	最小値については、3個の試験片が全て表中の値以上であるものを合格とする内容の注記を追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.12 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.33	
8	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.39	バウンダリを示した図について、記載を検討すること。	2022/4/27	検討の結果、図4-3Iについて、原子炉格納容器内にて、合流又は分岐した後に原子炉圧力容器に接続しているラインを追加し、また、系統名称等を適正化しました。なお、記載するラインを追加したことにより、図を新たに追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.18~25 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.39~42	
9	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.97	「設計・建設規格」の記載について検討すること。	2022/4/27	正式名称として、「発電用原子力設備規格(設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))JSME S NC1-2005/2007)」に適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.55 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.99	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
10	2022/1/20	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.8	設計基準事故時のサブプレッションチェンバの水量に加えて、水位の記載を検討すること。	2022/4/27	設計基準事故時の原子炉格納容器の評価水位について追記しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.10 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.30	
11	2022/1/20	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.14	「冷却材喪失時」の記載について検討すること。	2022/4/27	「冷却材喪失」と「冷却材喪失事故」が混在していたため、「冷却材喪失事故」に統一しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.1.2,15,32,49,50 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.9,10,36,37,49,88,89	
12	2022/1/20	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.33	蒸気凝縮振動荷重の値について、妥当性を説明すること。	2022/4/27	島根2号機のサブプレッションチェンバに加わる蒸気凝縮振動荷重については、建設当時の評価基準に基づき設定しています。具体的には、Mark-I型格納容器を模擬した試験(米国FSTF試験)の蒸気凝縮振動時の圧力・構造応答を模擬するような荷重条件を設定し、実機の解析モデルに入力することで、サブプレッションチェンバの壁面圧力や構造応答を評価し、算出しています。 なお、上記評価手法についてはMark-I型で共通ですが、蒸気凝縮振動荷重の値については、ベント系やトラスの形状の違いによって差異が生じているものと考えられます。(NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.36参照)	-	
13	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.31	逃がし安全弁の作動後のプール水温の記載について検討すること。	2022/4/27	逃がし安全弁作動時(開直後):58℃、逃がし安全弁作動後(原子炉圧力容器破損直前):83℃が、それぞれ分かるように記載しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.31	
14	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.32,35	表のタイトルについて、記載を検討すること。	2022/4/27	逃がし安全弁作動時(開直後)又は逃がし安全弁作動後(原子炉圧力容器破損直前)かが分かるように表のタイトルを変更しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.32,35	
15	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.36	図3-7の矢印の記載について検討すること。	2022/4/27	図3-7の矢印について、蒸気が減少していく過程を表していることを考慮し、適正化しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.36	
16	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.50	格納容器ベント時の動荷重の記載について検討すること。	2022/4/27	格納容器ベント時の減圧沸騰及び減圧波による影響においては、設計基準事故時には格納容器ベントを行わないため、サブプレッションチェンバの急速減圧に伴う減圧沸騰及び減圧波が発生せず、他の動荷重のように比較対象がないことから、現状の記載としております。(NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.40~51参照)	-	
17	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.14	表2-3の代表の選定理由について記載を検討すること。	2022/4/27	代表で動荷重に関する検討を行うものについて、選定理由を追記しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.10	
18	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.20	図2-6のクエンチャ形状が海外プラントと比較できる図について検討すること。	2022/4/27	図2-6について、クエンチャの全体形状が分かる図に変更しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.20	
19	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.80	格納容器下部冷却に使用する格納容器代替スプレイ系(可搬型)について記載を検討すること。	2022/4/27	格納容器代替スプレイ系(可搬型)の記載を追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.47 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.81	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
20	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.90	注記*12について、内圧が小さく無視できる理由を説明すること。	2022/4/27	冷却材喪失事故後10 ¹ 年程度以降の最大内圧が通常運転圧力よりも小さいことを追記しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.52 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.92	
21	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.88	荷重の種類について、先行審査プラントとの相違理由の記載を検討して説明すること。	2022/4/27	先行審査プラントとの相違理由の記載内容について適正化しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.90	
22	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.89	表5-1について、適用規格の相違により記載が変わる理由を説明すること。	2022/4/27	適用規格の相違から、コンクリート製格納容器に適用される荷重状態は記載していないことを明記しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.91	
23	2022/1/27	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.67	表2 No.6の備考について記載を検討して説明すること。	2022/4/27	No.6及びV(S)-1は、荷重の組み合わせが、死荷重+圧力+CHであることが同じとして、No.6の備考に「V(S)-1の組合せと同様」と記載しております。つまり、圧力の違いについては、組合せの違いとして扱わないようになります。(NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.67参照)	-	
24	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.97	繰り返し荷重に対する解析について、先行他社との規格の相違について説明すること。	2022/4/27	告示第501号及び設計・建設規格の両方を適用している先行他社については、強度計算書にて告示第501号、耐震計算書にて設計・建設規格と、両方の規格を適用しております。一方、島根2号機の原子炉格納容器については、強度計算書及び耐震計算書ともに、設計・建設規格による評価としているため、繰り返し荷重に対する解析においては、設計・建設規格による評価のみを記載しております。なお、繰り返し荷重に対する解析について、告示第501号と設計・建設規格に基本的な差はなく、告示第501号を適用した場合でも、疲れ解析(疲労解析)を必要としない結論となることを確認しております。(NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.55~57参照)	-	
25	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.101	許容引張応力Sから許容繰り返し回数Nの算出過程を補足説明資料にて説明すること。	2022/4/27	補足説明資料に、参考資料6として、許容繰り返し回数Nの算出過程を追加しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.72	
26	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.106	図6-1について、ベント管ペローズの位置を説明すること。	2022/4/27	図6-1にて、ベント管ペローズの位置を指示しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.59 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.108	
27	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.107	表6-1について、電気配線貫通部のスリーブが配管貫通部に含まれていることが分かるよう記載を検討して説明すること。	2022/4/27	表6-1, 2, 3について、電気配線貫通部のスリーブは、配管貫通部のスリーブに含めて評価している旨を追記しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.60,63,68 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.109,112,117	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
28	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.108	図6-2について、評価方法(b)として設計・建設規格を準用し評価できる理由を説明すること。	2022/4/27	設計・建設規格は、原子力発電所の設計／製作に適用することを目的に策定したものであり、技術基準規則解釈でも引用されています。また、先行プラントの新規制基準審査等でも審査実績があり、他の規格に比べ、構造力学理論を精緻に反映したものであるとともに、原子力設備の製作、検査、施工に基づく内容が反映されていることから、設計・建設規格を準用することに問題ないと考えます。 なお、準用とは、設計・建設規格に記載されている必要厚さを求める式を両辺の移項等により変形し、許容圧力を求める式として使用するという意味で用いており、内容を変更するものではありません。 (NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.61参照)	-	
29	2022/1/27	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.28	真空破壊装置について、サブプレッションチェンバ全体に対する取り付け位置を説明すること。	2022/4/27	真空破壊装置の設置位置を図4-5として追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.30,31 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.48	
30	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.101	負荷運転時における圧力変動の全振幅の算出過程について補足説明資料にて説明すること。	2022/4/27	比較表の備考欄に算出過程を追加しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.103	
31	2022/2/3	全般	-	-	-	評価において、告示501号ではなく、設計・建設規格を使用することの妥当性を説明すること。	2022/5/10	原子炉格納容器の評価において、設計・建設規格を用いることの方を補足説明資料に追記しました。	NS2-補-011改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.78(通し頁P.82)	
32	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.9	ベントヘッダ等個別の計算書において強度計算結果を示しているものについて、強度計算結果の記載箇所を説明すること。	2022/5/10	ベントヘッダ及びダウンカマは個別の計算書に記載している旨、比較表の備考欄に追記しました。	NS2-添1-065改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.13	
33	2022/2/3	NS2-添1-065(比)	比較表(VI-1-8-1-別添1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)	P.18	図4-1について応力評価点P-8の位置が分かるよう記載を検討すること。	2022/5/10	図4-1について、応力評価点P8が分かるよう、詳細図を追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.9(通し頁P.13)	
34	2022/2/3	NS2-補-011改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11	ひずみ率の平均値で評価している理由を説明すること。	2022/5/10	最新のJIS K 6262の2013年版では記載されていませんが、2006年版においては、3個の試験片によって得られた平均値を用いて評価と記載されています。本資料に用いている圧縮永久ひずみ率は、2012年12月頃に開始したPCVシール材に関する研究の一環で実施した試験結果を基に設定しています。このため、2012年12月時点で最新版であったJIS K 6262の2006年版を適用していることから、平均値により算出した圧縮永久ひずみ率を用いて評価しています。	-	
35	2022/2/3	NS2-補-011改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.22	「その他の分析位置」が示す位置を説明すること。	2022/5/10	その他の分析位置はシート面であることから、シート面を追記しました。	NS2-補-011改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.22(通し頁P.26)	
36	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.20	図4-1でヒンジボルトの位置を説明すること。	2022/5/10	図4-1について、ヒンジボルトの位置が分かるよう図示しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.17(通し頁P.21)	
37	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	全般	シール性能の評価で使用しているシール材の材質を説明すること。	2022/5/10	改良EPDM製シール材によるシール性能の評価を実施していることから、改良EPDM製シール材であることを追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.13,17,36,46(通し頁P.17,21,40,50)	
38	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.23	径方向変位の開口量に対する影響を説明すること。	2022/5/10	径方向変位差によるシール性能への影響について、記載を追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.17,19,23(通し頁P.21,23~27)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
39	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.24	図4-4について開口量の最大値を説明すること。	2022/5/10	図4-4、図4-5について、開口量の最大値を図示しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」JP.20,21(通し頁P.24,25)	
40	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.29	所員用エアロックのうち円筒胴の評価について、内側と外側の評価結果を説明すること。	2022/5/10	円筒胴の板厚が最も薄くなる原子炉格納容器外側の部分についてのみ評価を実施していましたが、先行プラントの状況も鑑み、原子炉格納容器内側の円筒胴の部分についても評価を追記することとしました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」JP.25~27(通し頁P.29~31)	
41	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.44	配管貫通部の代表評価としてX-244を選定している理由を説明すること。	2022/5/10	配管貫通部の評価について、代表を選定していることが確認できる資料を補足説明資料に追記しました。	NS2-補-011改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.82~84(通し頁P.86~88)	
42	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.59	「アレニウス式による活性化エネルギーを用いた換算評価」の算出過程を説明すること。	2022/5/10	アレニウス式による活性化エネルギーを用いた換算評価の算出過程を補足説明資料に追記しました。	NS2-補-011改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.85(通し頁P.89)	
43	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.80	表2-1について残留わずみの有無を説明すること。	2022/5/10	表2-1について、残留わずみの有無を追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」別紙2P.3(通し頁P.84)	
44	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.40	図7-2について各構成部品の位置を説明すること。	2022/5/10	図7-2について、どの部分をモデル化しているか分かるように制御棒駆動機構搬出ハッチ概要図を追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」JP.38(通し頁P.42)	
45	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.49	必要有効断面積と総有効断面積の算出過程を説明すること。その他、評価式を記載していないものについては算出過程を説明すること。	2022/5/10	ボルト及びフランジの評価について、補足説明資料に算出過程を追記しました。	NS2-補-011改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.86~92(通し頁P.90~96)	
46	2022/2/3	NS2-添1-065(比)	比較表(VI-1-8-1-別添1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)	P.106	試験概要図において一次シールド及び二次シールドの位置を説明すること。	2022/5/10	図9-3の試験概要図について、一次シールド部及び二次シールド部を追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」JP.59(通し頁P.63)	
47	2022/2/3	NS2-添1-065(比)	比較表(VI-1-8-1-別添1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)	P.105	「一次シールド部」の記載について記載の統一を検討すること。	2022/5/10	図9-1、図9-2及び表9-3について、記載を一次シールド部及び二次シールド部に統一しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」JP.55,56,59(通し頁P.59,60,63)	
48	2022/2/17	NS2-補-011改03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.24	図6fについてコリウムシールドとコンクリートトラップの位置を説明すること。	2022/4/14	コリウムシールドとコンクリートトラップの位置関係が分かるよう図を修正しました。	NS2-補-011改07「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.3のP.別紙3-5(通し頁P.25)	
49	2022/2/17	NS2-他-027改02	その他(適正化)	島根原子力発電所第2号機工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)	P.7	「スリット部が非常に狭隘であること」と「水が存在しないこと」が保守的な評価となる旨、記載を追記しました。	2022/4/14	水が存在しないことが保守的な評価となる旨、記載を追記しました。	NS2-添1-066改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」JP.10	
50	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.9	「3.コリウムシールド構造」について、コリウムシールドの厚さを説明すること。	2022/4/14	コリウムシールドの厚さについて記載を追記しました。	NS2-添1-066改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」JP.6	
51	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.9	コリウムシールドの構造について、溶融炉心に対する考慮事項の先行審査プラントとの違いについて、備考欄の記載を検討すること。	2022/4/14	先行審査プラントとの溶融炉心に対する考慮事項の違いについて、備考欄の記載を修正しました。	NS2-添1-066改01(比)「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」JP.9	
52	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.10	床面積に対する設計要求事項について、「溶融炉心拡がり面積の減少」と「全面を覆う構造」の関係性を説明すること。	2022/4/14	島根2号機のコリウムシールドは床面全体を覆う構造であり、溶融炉心の堆積高さ等の算出に必要な床面積は減少しないため、コリウムシールドの設置状況がわかるよう、記載を修正しました。	NS2-添1-066改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」JP.7	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
53	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2コリウムシールドの設計)	P.103	コリウムシールドの製造公差について、コリウムシールド単体での厚さに対する製造公差ではなく、全体の厚さに対する製造公差で管理している理由を説明すること。	2022/4/14	コリウムシールドの耐熱材はサンプ防護材と犠牲材の二層構造であり、これらをZrO ₂ を主成分とする目地材で隙間なく接着することにより、耐熱層として一体となって機能を発揮します。耐熱材の単品厚さは工場で測定し、製造公差内に入っていることを確認しているため、全体の厚さを管理する場合であっても、耐熱材が極端に薄くなったり、目地材が必要以上に厚くなったりすることがないことから、島根2号機のコリウムシールドの厚さは、目地材等を含む全体の厚さに対する製造公差で管理する方針としています。	—	
54	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2コリウムシールドの設計)	P.12	カバープレートについて、名称の統一を検討すること。	2022/4/14	ライニングプレートで名称を統一しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」P.13	
55	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2コリウムシールドの設計)	P.7.8	図3-1と図3-2の関係について説明すること。また、図3-2についてスリット部の構造およびスリット高さを説明すること。	2022/4/14	図3-1と図3-2の関係を記載し、スリット部の構造が分かる図3-3を新たに追加しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」P.7.8	
56	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.4	建物の負圧維持を確認する圧力計の配置及び負圧値について説明すること。	2022/3/10	差圧計については図1へ追記しました。また、原子炉建物原子炉棟内の差圧値については、1. 及び3. に反映しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.1.2(通し頁P.4,5)	
57	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.6	トラス室からの吸込みがトラス室上部ハッチになったことによる悪影響等を説明すること。	2022/3/10	トラス室からの排気ダクト流路面積と、トラス室上部ハッチの開口面積を比較し、負圧機能へ影響を及ぼさないことを追記しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.3(通し頁P.6)	
58	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.7	1階から燃料取替階まで吹き抜けがあることを説明すること。	2022/3/10	図5に、原子炉建物原子炉棟の地上階が大物搬入口を介して吹き抜け構造であることを図示しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.5(通し頁P.8)	
59	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.5	吸込口に異物混入防止の網があることを説明すること。	2022/3/10	図2の外観写真を拡大し、異物混入防止の網があることを追記しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.2(通し頁P.5)	
60	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.6	負圧に達する時間について、吸込口の位置変更による影響の有無を説明すること。	2022/3/10	非常用ガス処理系による負圧達成時間について、机上評価と実機データとの比較結果を追記しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.3(通し頁P.6)	
61	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	図7-1について詳細に説明すること。	2022/3/10	対策前の図を追加するなど図のレイアウトを変更し、図全体を拡大しました。なお、図7-1は図の追加により、図7-2に図番を変更しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.30(通し頁P.13)	
62	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	原子炉ウェル側のみ溶接で閉止することについて説明すること。	2022/3/10	図7-2において、原子炉ウェル側の吸込口を閉止(溶接構造)としました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.30(通し頁P.13)	
63	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	V216-512の下流側について説明すること。	2022/3/10	図7-2において、V216-512をドレン弁(V216-512)とし、接続先として原子炉建物機器ドレンサンプタンクを記載しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.30(通し頁P.13)	
64	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	表7-1の原子炉ウェル排気ラインの排気風量について、改造前の値であることを説明すること。	2022/3/10	説明内容をより明確化するため、下線部を追記しました。 <修正後> 原子炉ウェル排気ラインの排気風量は、原子炉建物原子炉棟全体及び4階の排気風量に対し、ごく僅かであり、当該ラインを閉止したことにより、 原子炉ウェル排気ラインの排気風量が0m³/h(成り行き)から完全に0m³/hになったとしても空調バランスへの影響はほとんど無いと考えられる また、表題を適正化しました。 (旧)表7-1 各設備の排気風量 (新)表7-1 各設備の排気風量(原子炉ウェル排気ライン閉止前)	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.31(通し頁P.14)	
65	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	原子炉ウェルシールドプラグの隙間について説明すること。	2022/3/10	構造を説明するため、図7-1 原子炉ウェルシールドプラグの構造を追加しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.29(通し頁P.12)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
66	2022/2/21	NS2-他-054	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.3	適正化箇所No.9について、設備変更ではないことを説明すること。	2022/4/14	工認記載適正化箇所No.9,13,18に、記載方針の相違であり、設備仕様に変更はない旨を追記しました。	NS2-他-054改02「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)」P.10,11	
67	2022/2/21	NS2-他-054	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.4	適正化箇所No.17の誤記について詳細に説明すること。	2022/4/14	工認記載適正化箇所No.17に、表4-1の誤記に関する詳細理由を追加しました。	NS2-他-054改02「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)」P.11	
68	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書)	P.20	可燃性ガス濃度制御系の起動時間について説明すること。	2022/4/14	可燃性ガス濃度制御系の起動までの時間を追記しました。	NS2-添1-068改01「VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書」VI-1-8-2のP.9(通し頁P.11)	
69	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書)	P.63	漏えい想定箇所のサブプレッションチェンバークセスハッチについて、設置場所を説明すること。	2022/4/14	設置階が地下1階であることを明記しました。	NS2-添1-068改01「VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書」VI-1-8-2-別添1のP.18(通し頁P.41)	
70	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書)	P.45	表2-2について、先行審査プラントに比べ酸素発生量が少ないことを説明すること。	2022/4/14	酸素発生量の違いは、備考欄に記載のとおり、燃料装荷量の違いによります。なお、プラント毎にタービン効率の相違等があることから完全一致はしませんが、燃料装荷量と電気出力についてはほぼ比例関係となります。	-	
71	2022/2/21	NS2-他-054	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.4	適正化箇所No.16の図2-5のスケール変更について詳細に説明すること。	2022/4/14	工認記載適正化箇所No.16に、図2-5のスケールの標準化に関する詳細を追加しました。	NS2-他-054改02「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)」P.11	
72	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書)	P.103	温度計を設置するPAR2台について、選定の考え方を説明すること。	2022/4/14	静的触媒式酸素処理装置入口温度及び静的触媒式酸素処理装置出口温度を設置するPARを2個とした理由が分かるよう記載を見直しました。	NS2-添1-068改01「VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書」VI-1-8-2-別添1 別紙4のP.4(通し頁P.77)	
73	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.22	局所エリアについて、なぜSRV補修室のみ重力ダンパが設置されているのか、目的、構造等(作動値含む)を含めて説明すること。	2022/4/14	補足説明資料に、重力ダンパの設置目的、構造を追加しました。	NS2-補-011改07「工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.12,13(通し頁P.44,45)	
74	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.26	「連絡管」と「連結管」について、記載の統一を検討すること。	2022/5/10	「連絡管」に統一しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.5.9(通し頁P.8,12) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.10,21 NS2-補-011 改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.4のP.補足17-4.5,10,15~18,21(通し頁P.223,224,229,234~237,240)	
75	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.54	備考欄の電源設備の記載について検討すること。	2022/5/10	可搬型代替交流電源設備に関する相違理由を記載していましたが、当該部に可搬型代替交流電源設備の記載はないため、可搬型代替交流電源設備に関する相違理由を削除しました。	NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.1,54	
76	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.19	流量制限オフィスの位置を示すこと。	2022/5/10	図2-1について、流量制限オフィスの凡例を追加しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.11(通し頁P.14) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.24	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
77	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.31	図2-6の凡例について検討すること。	2022/5/10	図2-6について、図中にベンチュリノズル及び閉止フランジを矢視しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.18(通し頁P.21) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.31	
78	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.38	表2-4のベンチュリノズル及び金属フィルタの個数について、各容器の個数を説明すること。	2022/5/10	表2-4(2)ベンチュリノズル及び(3)金属フィルタの個数について、容器1個あたりの個数を追記しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.23(通し頁P.26) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.38	
79	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.59	スクラバ容器温度の測定の方法について説明すること。	2022/5/10	スクラバ容器温度を測定することで、間接的にスクラビング水の温度上昇傾向を監視できることを追記しました。	NS2-補-011 改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.4のP.補足7-2(通し頁P.139)	
80	2022/3/3	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.208	最高使用温度に対して温度上昇率を考慮した場合でも、CsOHの融点より低いことを説明すること。	2022/5/10	金属フィルタの最高使用温度に温度上昇量を加味しても、エアロゾルの再浮遊が起こるような温度(CsOHの融点)に対し十分低くなることを追記しました。	NS2-補-011 改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.4のP.補足22-5(通し頁P.307)	
81	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.83	表3-5について、試験条件と主要な因子の関係を整理して説明すること。	2022/5/10	表3-5について、試験条件のうち「よ素の除去効率に影響を与える主要な因子」とそれ以外が分かるように注記により識別しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.67(通し頁P.70) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.87	
82	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.130	表4-4の試験圧力の記載について検討すること。	2022/5/10	表4-4について、試験圧力の範囲が明確となるよう記載を見直しました。また、試験圧力の範囲の明確化に伴い試験目的方法欄記載の加圧範囲の記載を削除しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.90(通し頁P.93) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.130	
83	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.59	図2-36について、スクラビング水の水位の下限値の記載を検討すること。	2022/5/10	図2-35に下限水位を追記しました。また、上限水位について、上限水位であることが分かる記載に見直しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.41(通し頁P.44) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.59	
84	2022/3/15	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.192	ベンチュリノズル部について、スクラビング水位との位置関係を説明すること。	2022/5/10	図2にスクラビング水位を追記しました。また、ベント実施中の水位挙動に関する注記を追加しました。	NS2-補-011 改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.4のP.補足20-34(通し頁P.290)	
85	2022/3/15	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.172,173	分岐管の解析に使用しているシェルモデルとビームモデルのモデル化範囲の違いについて説明すること。	2022/5/10	シェルモデルについて、閉止フランジ付根部をモデル化していない理由を追記しました。	NS2-補-011 改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.4のP.補足20-37(通し頁P.293)	
86	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.132	「系統待機時」の記載について、先行審査プラントとの相違を説明すること。	2022/5/10	「系統待機時」の記載について、先行審査プラントとの相違として波線(記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし))を追記しました。	NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.132	
87	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.154	スクラバ容器のマンホールの目的及び運用について説明すること。	2022/5/10	第1ベントフィルタスクラバ容器のマンホールの目的及び点検時の運用について相違理由に追記しました。(相違No.12)	NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.1,154	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
88	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.155	流量制限オリフィス以降の最高使用圧力の設定について、補足して説明すること。	2022/5/10	先行審査プラントとの相違理由について、スクラビング水他と銀ゼオライトフィルタを別容器で構成していることにより、流量制限オリフィスの上流側と下流側で異なる最高使用圧力を設定していることが分かる記載を見直しました。(相違No.13)	NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.1,155	
89	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.137	下向き枝管について、水封される理由を説明すること。	2022/5/10	下向き枝管は、凝縮水により水封される旨を追記しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙1のP.7(通し頁P.102) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.137	
90	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.159	可搬式窒素供給装置の容量の設定の考え方について、補足して説明すること。	2022/5/10	可搬式窒素供給装置の容量設定について、考慮事項と容量の関係が明確となるよう記載を見直しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙1のP.26(通し頁P.121) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.159	
91	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.187	スクラビング水の水位評価において、ベントガスの凝縮に寄与する構造物として入口配管を考慮している理由を説明すること。	2022/5/10	スクラビング水の水位評価において、ベントガスの凝縮に寄与する構造物として入口配管を保守的に考慮している旨を相違理由に追記しました。(相違No.17)	NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.1,187	
92	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.191	管理値(水位低)を修正して説明すること。	2022/5/10	管理値(水位低)の値を訂正しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙4のP.3(通し頁P.141) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.191	
93	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.144	図1-6の弁の開閉状態の表示を修正して説明すること。	2022/5/10	図1-6について、弁の状態表示をベント実施時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追加しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙1のP.11(通し頁P.106) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.144	
94	2022/3/15	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.85	図3の系統構成を修正して説明すること。	2022/5/10	図3について、弁の状態表示を原子炉格納容器圧力降下操作中に隔離信号が発生した際の状態に修正しました。	NS2-補-011改10工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)資料No.4のP.補足11-16(通し頁P.183)	
95	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.256	被ばく評価上で最大となるベント実施時の作業について、対象の作業が分かるよう記載を検討すること。	2022/5/10	被ばく評価上で最大となるベント実施時の作業について、対象の作業が第2弁開操作であることが分かるよう追記しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙6のP.4(通し頁P.167) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.240	
96	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.250	第2弁開操作時と第1弁開操作時の被ばく評価結果の違いを説明すること。	2022/5/10	第2弁開操作時と第1弁開操作時の被ばく評価結果の違いについて、考察を追記しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙6のP.12, 13(通し頁P.175, 176) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.250,251	
97	2022/4/14	NS2-添1-066改01(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.10	溶融炉心の拡がりの面積を可能な限り減少させないことに対する設計思想を備考欄で説明すること	2022/6/16	溶融炉心の拡がり面積を可能な限り減少させないことに対する設計方針を備考欄に記載しました。	NS2-添1-066改02(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)」 P.10	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
98	2022/4/14	NS2-添1-066改01	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添2)	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.3,8,13	各部材を示す用語を定義した上で、基本厚さとコリウムシールドの厚さについて説明すること	2022/6/16	用語の定義及びコリウムシールドの厚さについて補足説明資料に記載しました。	NS2-補-011改15「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.3のP.別紙5-1,2(通し頁P.128,129)	
99	2022/4/14	NS2-他-054改02	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.5	No.531について、各部材を示す用語を定義した上、厚さの測定方法を含めて基本厚さ等の寸法及び製造公差について説明すること。	2022/6/16	用語の定義及びコリウムシールドの厚さの測定方法等について補足説明資料に記載しました。	NS2-補-011改15「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.3のP.別紙5-1,2(通し頁P.128,129)	
100	2022/4/14	NS2-添1-066改01(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.14	「耐熱モルタル」と「モルタル」について、用語の統一を検討すること。その他の用語についても、用語の統一を検討すること	2022/6/16	「耐熱モルタル」と「モルタル」は「モルタル」に統一しました。また、シールド材はサンプル防護材と犠牲材のことを示していることから「サンプル防護材、犠牲材」に修正し、目地材にはスタンプ材も含まれることから、スタンプ材を追記しました。	NS2-添1-066改02「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」P.3,8 NS2-添1-066改02(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)」P.6,12	
101	2022/4/14	NS2-補-011改07	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.45	重力ダンパの構造図について、実際の設置状況を考慮した向きに修正し説明すること	2022/6/7	実際の設置状況に向きを合わせた図に変更しました。	NS2-補-011改14「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.13(通し頁P.92)	
102	2022/4/14	NS2-添1-068改01(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書)	P.103	静的触媒式酸素処理装置入口/出口温度計の設置位置について、先行審査プラントとの相違を説明すること	2022/6/7	温度計の設置位置について、相違理由を追記しました。	NS2-添1-068(比)改02「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書)」P.103	
103	2022/4/14	NS2-添1-068改01(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書)	P.45	表2-2について、酸素の発生量のうち有効性評価結果の値が先行審査プラントと比較して小さくなっている理由を説明すること	2022/6/7	有効性評価結果における酸素発生量の相違理由を追記しました。	NS2-添1-068(比)改02「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書)」P.45	
104	2022/4/14	NS2-添1-068改01	施設個別説明書(VI-1-8-2)	VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書	P.46	図2-20で示している酸素濃度の時間変化が、格納容器ベントを期待していないことが分かるように記載を検討すること。また酸素濃度が1.5vol%に到達するまでの経過時間を説明すること	2022/6/7	図2-20で示している酸素濃度の時間変化について、格納容器ベントを期待していないことを明記しました。また、図2-20に酸素濃度が1.5vol%に到達するまでの経過時間を追加しました。	NS2-添1-068改02「VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書」VI-1-8-2-別添1のP.23(通し頁P.46) NS2-添1-068(比)改02「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書)」P.70,71	
105	2022/4/27	NS2-添1-064改01(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.88	シルトフェンスの予備に関して、実運用を踏まえた保管場所について、備考欄への記載を検討すること。	2022/6/7	予備も含めたシルトフェンスの保管場所及び運用方法を比較表の備考欄に記載しました。	NS2-添1-064(比)改02「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.88	
106	2022/4/27	NS2-添1-064改01(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.92	通常運転圧力の値について、備考欄への記載を検討すること。	2022/6/7	通常運転圧力の値を備考欄に追記しました。	NS2-添1-064(比)改02「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.92,96	
107	2022/4/27	NS2-他-054改03	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.1	回答整理表No.5 残留熱除去系(格納容器冷却モード)の削除理由について、コメント回答欄への記載を検討すること。	2022/6/7	最も過酷な破断を想定して設計する旨を明確化することから、「残留熱除去系(格納容器冷却モード)とあいまって」を削除することとしていましたが、改めて検討した結果、原子炉格納容器は「残留熱除去系(格納容器冷却モード)」に期待した設計とされていることから当該記載は必要と判断し、「残留熱除去系(格納容器冷却モード)」の削除は取りやめ、文章を適正化しました。	NS2-添1-064改02「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.1 NS2-添1-064(比)改02「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.9	
108	2022/4/27	NS2-添1-064改01(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.30	通常運転水位の最大値を設定していることが分かるよう記載を検討すること。	2022/6/7	通常運転水位の上限値であることを明記しました。	NS2-添1-064改02「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.10 NS2-添1-064(比)改02「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.30	
109	2022/4/27	NS2-補-011改09	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.51	「動荷重に包絡されていること等を確認することにより」の「等」について説明すること。	2022/6/7	「等」の内容として、「設計基準事故時に想定していない格納容器ベント時の減圧沸騰及び減圧波による荷重については影響が小さく問題ないこと」を追記しました。	NS2-補-011改14「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.51(通し頁P.56)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
110	2022/4/27	NS2-補-011改09	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.26	8.35MPaと8.68MPaが何の圧力が説明すること。	2022/6/7	8.35MPaが設計基準事故時の評価における逃がし安全弁作動圧力、8.68MPaがATWS時の最高圧力であることを明記しました。	NS2-補-011改14「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.26(通し頁P.31)	
111	2022/4/27	NS2-他-054改03	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.4	回答整理表No.28 式の変形内容を説明すること。	2022/6/7	回答整理表No.28に、両辺の移項等による変形であることを明記しました。	-	
112	2022/5/10	NS2-補-011改10	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.82	原子炉格納容器以外の強度評価方針について、記載を検討すること。	2022/6/16	原子炉格納容器以外の強度評価方針について、補足説明資料に記載しました。	NS2-補-011改15「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.78(通し頁P.82)	
113	2022/5/10	NS2-添1-065改01	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.13	サンドクッション部について、役割等を含めて詳細に説明すること。	2022/6/16	原子炉格納容器に発生する内圧や熱膨張により原子炉格納容器が外側に変位することで、ドライウェル下部球形胴のコンクリートに埋まっている部分と埋まっている部分の境界(埋設境界)で局部応力が発生することから、サンドクッションを設置することにより、原子炉格納容器の外側への変位を吸収し、埋設境界に発生する局部応力の低減を図ることとしています。 図4-1のA部詳細にサンドクッション部を追記しました。	NS2-添1-065改02「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.9(通し頁P.13) NS2-添1-065改02(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.18	
114	2022/5/10	NS2-添1-065改01	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.26	タンクとグループの接触状況について、図を用いて説明すること。	2022/6/16	タンクとグループの接触状況が分かる図を追記しました。	NS2-添1-065改02「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.22(通し頁P.26) NS2-添1-065改02(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.47	
115	2022/5/10	NS2-添1-065改01	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.24	内側ガスケット部の最大径方向変位差の角度について説明すること。	2022/6/16	2Pdにおける最大径方向変位差について、内側及び外側ガスケット部にそれぞれ角度を追記しました。合わせて最大軸方向開口量についても角度を追記しました。	NS2-添1-065改02「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.20(通し頁P.24) NS2-添1-065改02(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.43	
116	2022/5/10	NS2-補-011改10	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.98	0°、90° 方向の径方向の相対変位について説明すること。	2022/6/16	補足説明資料には90° 方向の相対変位に関する記載のみでしたので、0° 方向の相対変位に関する記載も追記し、その他の部分についても記載を拡充しました。	NS2-補-011改15「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.93～95(通し頁P.97～99)	
117	2022/5/10	NS2-添1-065改01	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.26	タンクとグループが接触して発生するひずみに対して影響がないことを説明すること。	2022/6/16	タンクとグループが接触してもタンクに影響がない旨、追記しました。	NS2-添1-065改02「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.23(通し頁P.27) NS2-添1-065改02(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.48	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
118	2022/5/10	NS2-添1-065改01	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.25	図4-4、4-5について、1Pd時の最大軸方向開口量、最大相対変位の値について、記載を検討すること。	2022/6/16	1Pd時における最大軸方向開口量及び最大相対変位の値について、図に追記しました。	NS2-添1-065改02「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.20,21(通し頁P.24,25) NS2-添1-065改02(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.43,44	
119	2022/5/10	NS2-添1-065改01	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.19	機器搬入ロフランジの軸方向、径方向開口量と許容開口量について、図を用いて説明すること。	2022/6/16	機器搬入ロフランジの軸方向開口量及び径方向変位差について、許容値との関係が分かる図を追記しました。	NS2-添1-065改02「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.23,24(通し頁P.27,28) NS2-添1-065改02(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.48,49	
120	2022/5/10	NS2-添1-065改01	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.42	図7-2について、各図の関係性、部位が分かるよう記載を検討すること。	2022/6/16	各図の関係性が分かるよう図を修正しました。また、文章中の制御棒駆動機構搬出ハッチスリーブを制御棒駆動機構搬出ハッチ円筒に修正しました。	NS2-添1-065改02「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.39,40(通し頁P.43,44) NS2-添1-065改02(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.80,81	
121	2022/5/12	NS2-補-011改11	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.3	原子炉建物の負圧化の過程、吸込口変更前後の空気の流れ及び原子炉建物内の圧力が均一化する過程を説明すること。また、差圧計の検出位置とその他エリアの圧力変動の時間遅れの関係を説明すること。	2022/5/20	非常用ガス処理系起動後の原子炉建物原子炉棟内の圧力挙動、空気の流れを記載しました。また、原子炉建物原子炉棟内の圧力均一化過程及び差圧計の検出方法に関する考察を追記しました。	NS2-補-011改12「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.1,3,4	
122	2022/5/12	NS2-他-119	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(健全性)	P.1	「一律条件として66°Cを設定しています」の記載について、設定範囲の対象が分かるように記載を検討すること。	2022/5/20	一律条件の設定範囲が分かるよう記載を見直しました。	NS2-他-054改06「島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)」P.2	
123	2022/5/12	NS2-他-119	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(健全性)	P.1	温度評価を実施している箇所と吸込口との位置関係も踏まえ、一律条件の温度の設定方法を説明すること。	2022/5/20	原子炉建物原子炉棟内の環境条件(温度)の設定の考え方について、補足説明資料に追記しました。なお、原子炉建物原子炉棟内における環境温度の評価について、各階を1ノードとして解析しており、非常用ガス処理系吸込み口位置についても原子炉建物原子炉棟2階の評価に含まれており、設計温度66°Cを超えないことを確認しました。	NS2-補-011改12「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.8,9	
124	2022/5/20	NS2-補-011改12	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.9	図1のサブプレッションチェンバの温度条件について、何の温度を示しているか説明すること。	2022/6/3	図1の凡例について、サブプレッションチェンバの温度条件が水温を示していることが分かるように、記載を見直しました。	NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理」について」NS2-補-011のP.9(通しP.347)	
125	2022/5/20	NS2-補-011改12	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.4	開口総面積減少による負圧維持への影響がない説明について、原子炉棟内の差圧検出位置によらない理由を説明すること。	2022/6/3	原子炉建物原子炉棟内は、トラス室上部ハッチ等で連絡されており、原子炉建物原子炉棟内で生じた圧力変動は遅滞なく均圧されるため、検出位置によらず、原子炉建物原子炉棟全体と外気との差圧を確認することができることから、地下階の圧力挙動についても検出位置と同様であると考えて追記しました。	NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理」について」NS2-補-011のP.4(通しP.342)	
126	2022/5/20	NS2-補-011改12	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.6	図6のインリーク箇所について、凡例等により説明すること。	2022/6/3	図6の緑枠について、規定負圧到達後にインリークが発生する「主な躯体開口部」であることを示すことが分かるように、凡例の記載を見直しました。また、凡例の見直しにあわせて、図中の記載を見直しました。	NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理」について」NS2-補-011のP.6(通しP.344)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
127	2022/5/20	NS2-補-011改12	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.9	図1の凡例の記載について検討すること。	2022/6/3	図1の凡例について、青線・青点線が環境条件として設定した数値であることが分かるように記載を見直しました。	NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理について」JNS2-補-011のP.9(通しP.347)	
128	2022/5/25	NS2-他-067改03	審査資料(論点整理)	島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について	P.43	トラス室上部ハッチによりトラス室と地上階が繋がっている旨の記載を検討すること。	2022/6/3	原子炉建物原子炉棟地下階と地上階はトラス室上部ハッチ等により連絡されており、これにより原子炉建物原子炉棟内が均圧される旨を追記しました。	NS2-他-067 改04「島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正)」に係る論点整理について」P.27 NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理について」JNS2-補-011のP.4(通しP.342)	コメント移動
129	2022/5/25	NS2-他-067改03	審査資料(論点整理)	島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について	P.43	トラス室と地上階の関係を示す原子炉建物断面図の追加を検討すること。	2022/6/3	原子炉建物原子炉棟の断面図を追加しました。	NS2-他-067 改04「島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正)」に係る論点整理について」P.28	コメント移動
130	2022/5/25	NS2-他-067改03	審査資料(論点整理)	島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について	P.43	トラス室上部ハッチの設置目的、閉止の有無を説明すること。	2022/6/3	トラス室上部ハッチの設置目的、閉止の有無並びに大物搬入口及びトラス室上部ハッチの開口面積を追記しました。	NS2-他-067 改04「島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正)」に係る論点整理について」P.28	コメント移動
131	2022/6/3	NS2-他-067改04	論点整理	島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について	P.27	SGT起動時の原子炉棟内の空気の動きについて、建物の気密性からまずは各エリア、原子炉棟内が負圧になってくると外気インリークとなつていくように段階的な説明を検討すること。	2022/6/14	原子炉棟内の空気の動きについて、段階的な説明になるように記載を変更しました。	NS2-他-067 改05「島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正)」に係る論点整理について」P.27	
132	2022/6/3	NS2-他-071改04	補足説明	補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について)	P.346	最も過酷な条件(DCH)が温度の観点で最も過酷であることが分かるように検討すること。また、事故シナリオ選定の考え方を説明すること。	2022/6/14	想定シナリオが最も過酷な環境温度となることが想定されるシナリオを選定したものであることが分かるよう記載を変更しました。また、想定シナリオの選定の考え方を追記しました。	NS2-他-071改05「補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理について」JNS2-補-011のP.9(通しP.345)	
133	2022/6/7	NS2-補-011改14	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.31	圧力振幅のピーク値に対する線形補完の約1.1倍について、根拠を説明すること。	2022/7/7	強度評価条件におけるATWS時の圧力上昇を考慮した逃がし安全弁作動時の圧力振幅は、原子炉圧力比である8.68MPa/8.35MPaを保守的に切上げた1.1倍で設定しておりますので、その旨がわかるような説明に変更しました。	NS2-補-011改16「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.26(通し頁P.31)	
134	2022/6/7	NS2-補-011改14	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.57	ドラッグ荷重について、説明すること。	2022/7/7	ドラッグ荷重について、注記として、説明を追記しました。	NS2-補-011改16「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.52(通し頁P.57)	
135	2022/6/7	NS2-補-011改14	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.84	水素濃度が上昇傾向となる理由と実際の水素濃度上昇が緩やかになることについて分けて説明すること。	2022/7/7	解析上の水素濃度が上昇傾向となる理由と実際の水素濃度上昇が緩やかになることについて、解析上の保守性の観点から、関係性がわかるように記載を適正化しました。	NS2-補-011改16「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.5(通し頁P.212)	
136	2022/6/16	NS2-補-011改15	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.82	原子炉格納容器の強度評価について、設計・建設規格を適用している理由を整理して説明すること。	2022/7/7	設計・建設規格を適用している理由の1つとして、一貫した評価を実施することができる旨、記載を追記しました。	NS2-補-011改16「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.78(通し頁P.157)	
137	2022/6/16	NS2-他-054改09	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.14	サンドクッションの役割について、補足説明資料にて説明すること。	2022/7/7	サンドクッションの役割について、補足説明資料に追記しました。	NS2-補-011改16「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.目次.96(通し頁P.79,175)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
138	2022/6/16	NS2-添1-065改02	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.27	最大相当塑性ひずみが発生する際のタンクとグループの位置関係を説明すること。また、タンクに発生する最大相当塑性ひずみが小さいと判断できる理由を説明すること。	2022/7/7	最大相当塑性ひずみが発生する際のタンクとグループの位置関係について記載を追記し、図の構成を变形前と变形後に修正しました。また、タンクに発生する最大相当塑性ひずみが小さいと判断できる理由を追記しました。	NS2-添1-065改03「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.23,24(通し頁P.27,28) NS2-添1-065改03(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.48~50	
139	2022/6/16	NS2-添1-066改02	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添2)	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.3	表1-1について、コリウムシールドに含まれる部材を明確にして寸法を説明すること。	2022/7/7	寸法に関する説明について、厚さに含まれる部材を明確に記載しました。	NS2-添1-066改03「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」 P.3 NS2-添1-066 改03(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)」 P.6	
140	2022/6/16	NS2-補-011改15	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.129	コリウムシールドの寸法は施工時にしか測定できないため、施工後の維持管理について説明すること。	2022/7/7	コリウムシールドの施工後の維持管理に関する説明を記載しました。	NS2-補-011改16「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.3のP.別紙5-2(通し頁P.205)	
141	2022/7/7	NS2-補-011改16	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.57	衝撃荷重について説明すること。	2022/7/26	衝撃荷重の説明を注記として追記しました。あわせて、ドラッグ荷重の説明についても拡充しました。	NS2-補-011改17「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.52(通し頁P.57)	
142	2022/7/7	NS2-補-011改16	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.205	コリウムシールドについて、設置環境で劣化が想定されない理由を説明すること。	2022/7/26	コリウムシールドを設置する環境において、温度等の劣化が想定されない旨、記載を追記しました。	NS2-補-011改17「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.3のP.別紙5-2(通し頁P.107)	
143	2022/7/7	NS2-添1-066改03	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添2)	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.6	「3.コリウムシールドの構造」に記載の「厚さ0.13m以上」が何の厚さを示すのか説明すること。	2022/7/26	「3.コリウムシールドの構造」に記載されている「厚さ0.13m以上」について、耐熱材の厚さであることが分かるよう記載を見直しました。	NS2-添1-066改04「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」 P.6 NS2-添1-066 改04(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)」 P.9	
144	2022/7/7	NS2-補-011改16	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.212	漏えいした水素が原子炉建物原子炉棟4階に設置された静的触媒式水素処理装置に導かれることを説明すること。	2022/7/26	静的触媒式水素処理装置が原子炉建物原子炉棟4階に設置されていることを追記しました。	NS2-補-011改17「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.1(通し頁P.110)	
145	2022/7/26	NS2-補-011改17	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.107	コリウムシールドの維持管理について、通常運転中に加えて停止時における劣化想定についても説明すること。	2022/8/25	プラント停止中においても劣化が想定されない旨、記載を追記しました。	NS2-補-011改18「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.3のP.別紙5-2(通し頁P.32)	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
NO.1～2261については、NS2-他-054改15で整理済みのため省略。						
227	NS2-添1-064改04	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.目-1,2	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対する基本方針を追記に伴い変更となったページ番号を反映しました。	2023/4/28	
228	NS2-添1-064改04	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.4	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対する基本方針を追記しました。 <追記> また、格納容器フィルタベント系は、原子炉格納容器雰囲気ガスを第1ベントフィルタスクラバ容器及び第1ベントフィルタ銀ゼオライト容器により放射性物質を低減させた後に原子炉建物屋上に設ける放出口から排出することで、排気中に含まれる放射性物質の環境への排出を低減しつつ、原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスを大気に排出することで、原子炉格納容器から原子炉建物原子炉棟(二次格納施設)への水素ガスの漏えいを抑制し、原子炉建物原子炉棟(二次格納施設)内の水素濃度の上昇を緩和できる設計とし、排気中に含まれる水素ガス及び酸素ガスによる水素爆発を防止するため、可搬式窒素供給装置により、系統内を不活性ガス(窒素ガス)で置換した状態で待機させ、使用後においても不活性ガスで置換できる設計とし、排出経路に水素ガス及び酸素ガスが蓄積する可能性のある箇所にはバイパスラインを設け、水素ガス及び酸素ガスを連続して排出できる設計とすることで、系統内で水素濃度及び酸素濃度が可燃領域に達することを防止できる設計とする。	2023/4/28	
229	NS2-添1-064改04	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.26	記載の統一のため適正化しました。(下線部参照) (旧) (注) ①:… (新) 注1:…	2023/4/28	
230	NS2-添1-064改04	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.48	記載の明確化のため適正化しました。(下線部参照) (旧)格納容器フィルタベント系は、排気中に含まれる水素ガス及び酸素ガスによる水素爆発を防止するため、系統内を不活性ガス(窒素ガス)で置換した状態で待機させ、使用後においても不活性ガスで置換できる設計とする。 (新)格納容器フィルタベント系は、排気中に含まれる水素ガス及び酸素ガスによる水素爆発を防止するため、可搬式窒素供給装置により、系統内を不活性ガス(窒素ガス)で置換した状態で待機させ、使用後においても不活性ガスで置換できる設計とする。	2023/4/28	
231	NS2-添1-064改04	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.48	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対する設計条件を4.3.7項に追記しました。 <追記> 炉心の著しい損傷が発生した場合において原子炉建物等の水素爆発による損傷を防止するために原子炉格納容器から原子炉建物原子炉棟(二次格納施設)への水素ガスの漏えいを抑制し、原子炉建物原子炉棟(二次格納施設)内の水素濃度の上昇を緩和するための重大事故等対処設備として、原子炉格納容器から水素ガス及び酸素ガスを排出することができる設備である格納容器フィルタベント系を設ける設計とする。	2023/4/28	
232	NS2-添1-064改04	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.49	4.3.7項へ原子炉建物等の水素爆発による損傷を防止するための格納容器フィルタベント系の設計条件を追記したことに伴い、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 炉心の著しい損傷が発生した場合において原子炉建物等の水素爆発による損傷を防止するために原子炉建物原子炉棟(二次格納施設)内の水素濃度上昇を抑制し、… (新) また、炉心の著しい損傷が発生した場合において原子炉建物等の水素爆発による損傷を防止するために原子炉建物原子炉棟(二次格納施設)内の水素濃度上昇を抑制し、	2023/4/28	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
233	NS2-添1-064改04	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.49	<p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対する設計条件を4.3.7項に追記しました。</p> <p><追記> 格納容器フィルタベント系は、炉心の著しい損傷が発生した場合において、原子炉格納容器内雰囲気ガスを窒素ガス制御系等を経由して、第1ベントフィルタスクラバ容器及び第1ベントフィルタ銀ゼオライト容器へ導き、放射性物質を低減させた後に原子炉建物屋上に設ける放出口から排出(系統設計流量 9.8kg/s(1Pdにおいて))することで、排気中に含まれる放射性物質の環境への排出を低減しつつ、原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスを大気に排出できる設計とする。格納容器フィルタベント系は、排気中に含まれる水素ガス及び酸素ガスによる水素爆発を防止するため、可搬式窒素供給装置により、系統内を不活性ガス(窒素ガス)で置換した状態で待機させ、使用後においても不活性ガスで置換できる設計とする。また、排出経路に水素ガス及び酸素ガスが蓄積する可能性のある箇所にはバイパスラインを設け、水素ガス及び酸素ガスを連続して排出できる設計とすることで、系統内で水素濃度及び酸素濃度が可燃領域に達することを防止できる設計とする。可搬式窒素供給装置は、可搬式窒素供給装置用発電設備により給電できる設計とする。</p>	2023/4/28	
234	NS2-添1-064改04	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.52	記載の統一のため、注と注記の記載順を入れ替えました。	2023/4/28	
235	NS2-添1-064改04	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.73	電気配線貫通部の新形式に対する型式認定試験の結果を踏まえ、低圧用電気配線貫通部の一部モジュールに新形式のものを採用することとしたため、シール材の材質として従来のエポキシ樹脂及びEPゴムに、SUS、セラミック、EPDMが追加となりました。このため、図6-3にシール材の情報を追記しました。	2023/4/28	
236	NS2-添1-067改03	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.4	<p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対する設置目的を記載しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)炉心の著しい損傷が発生した場合において、原子炉格納容器の過圧による破損及び原子炉格納容器内における水素爆発による破損を防止するため、格納容器フィルタベント系を設置する。</p> <p>(新)炉心の著しい損傷が発生した場合において、原子炉格納容器の過圧による破損、原子炉格納容器内における水素爆発による破損及び水素爆発による原子炉建物等の損傷を防止するため、格納容器フィルタベント系を設置する。</p>	2023/4/28	
237	NS2-添1-067改03	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.7	<p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対する設計方針を記載しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)また、炉心の著しい損傷が発生した場合において、原子炉格納容器内における水素爆発による破損を防止するために、…</p> <p>(新)また、炉心の著しい損傷が発生した場合において、原子炉格納容器内における水素爆発による破損及び水素爆発による原子炉建物等の損傷を防止するために、…</p>	2023/4/28	
238	NS2-添1-067改03	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.40	<p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対する設置目的を記載しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)第1ベントフィルタ出口放射線モニタは、大気へ放出する放射性物質濃度を監視する目的で、…</p> <p>(新)第1ベントフィルタ出口放射線モニタは、放射性物質を含む気体の排気を検出及び大気へ放出する放射性物質濃度を監視する目的で、…</p>	2023/4/28	
239	NS2-添1-067改03	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.46	<p>表2-10について、実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対する監視目的を記載しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)系統運転中に放出される放射性物質濃度の確認</p> <p>(新)放射性物質を含む気体の排気を検出及び系統運転中に放出される放射性物質濃度の確認</p>	2023/4/28	
240	NS2-添1-067改03	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.182	<p>図3-1について、用語の統一のため適正化しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)希ガスの炉内蓄積量</p> <p>(新)希ガスの炉内内蔵量</p>	2023/4/28	
241	NS2-添1-067改03	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.183	<p>図3-2について、用語の統一のため適正化しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)よう素の炉内蓄積量</p> <p>(新)よう素の炉内内蔵量</p>	2023/4/28	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
242	NS2-添1-067改03	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.184	図3-3について、用語の統一のため適正化しました。(下線部参照) (旧)セシウムの炉内蓄積量 (新)セシウムの炉内内蔵量	2023/4/28	
243	NS2-添1-067改03	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.185	図3-3について、用語の統一のため適正化しました。(下線部参照) (旧)その他核種の炉内蓄積量 (新)その他核種の炉内内蔵量	2023/4/28	
244	NS2-添1-067改03	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.186	図3-5の注記について、用語の統一のため適正化しました。(下線部参照) (旧)*2:原子炉格納容器から原子炉建屋への漏えい率 (新)*2:原子炉格納容器から原子炉建物への漏えい率	2023/4/28	
245	NS2-添1-068改03	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.2	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対し、2.2項及び4.2項に格納容器フィルタベント系を追加し、以降の項番号及びページ番号を変更しました。	2023/4/28	
246	NS2-添1-068改03	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.3	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対する基本方針を記載しました。(下線部参照) (旧)原子炉格納施設の水素ガスの濃度を低減し、原子炉格納容器の破損を防止するための設備として可燃性ガス濃度制御系、窒素ガス代替注入系及び格納容器フィルタベント系を、原子炉建物等の損傷を防止するための設備として静的触媒式水素処理装置を設置する。 (新)原子炉格納施設の水素ガスの濃度を低減し、原子炉格納容器の破損を防止するための設備として可燃性ガス濃度制御系、窒素ガス代替注入系及び格納容器フィルタベント系を、原子炉建物等の損傷を防止するための設備として格納容器フィルタベント系及び静的触媒式水素処理装置を設置する。	2023/4/28	
247	NS2-添1-068改03	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.5	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対する監視目的を記載しました。(下線部参照) (旧)(4) 排出経路における線量当量率を測定し、放射性物質濃度を推定できるよう、第1ベントフィルタ出口配管に第1ベントフィルタ出口放射線モニタ(低レンジ)及び第1ベントフィルタ出口放射線モニタ(高レンジ)を設ける設計とする。 (新)(4) 排出経路における線量当量率を測定し、放射性物質を含む気体の排気を検出及び放射性物質濃度を推定できるよう、第1ベントフィルタ出口配管に第1ベントフィルタ出口放射線モニタ(低レンジ)及び第1ベントフィルタ出口放射線モニタ(高レンジ)を設ける設計とする。	2023/4/28	
248	NS2-添1-068改03	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.6	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対し、原子炉建物等の損傷を防止するための水素濃度低減設備へ原子炉格納容器から水素ガスを排出することができる設備(格納容器フィルタベント系)を追加しました。(下線部参照) (旧)炉心の著しい損傷が発生した場合において原子炉建物等の水素爆発による損傷を防止するために、水素濃度制御設備及び水素濃度監視設備として以下の設備を設置する。 (新)炉心の著しい損傷が発生した場合において原子炉建物等の水素爆発による損傷を防止するために、原子炉格納容器から水素ガスを排出することができる設備、水素濃度制御設備及び水素濃度監視設備として以下の設備を設置する。	2023/4/28	
249	NS2-添1-068改03	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.6	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対し、2.2.1項として格納容器フィルタベント系を追加し、以降の項番号変更しました。 <追記> 2.2.1 格納容器フィルタベント系 炉心の著しい損傷が発生した場合において、原子炉建物等の水素爆発による損傷を防止するための設備として、格納容器フィルタベント系を設置する。 格納容器フィルタベント系の系統概略図を図2-3に示す。 原子炉格納容器内の水素爆発防止のための運用にあたっては、2.1.3 (1)~(7)に記載の条件を満たす設計とする。	2023/4/28	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
250	NS2-添1-068改03	VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書	P.15,18	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正により追加となった要求事項に対し、4.2.1項として格納容器フィルタベント系を追加し、以降の項番号変更しました。 <追記> 4.2.1 格納容器フィルタベント系 「4.1.3 格納容器フィルタベント系」と同様の設計とする。	2023/4/28	
251	NS2-添1-068改03	VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書	P.34	図2-2中の注記について、記載の統一のため適正化しました。(下線部参照) (旧)注*, ※ (新)注記*, *	2023/4/28	
252	NS2-添1-068改03	VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書	P.50	図2-22中の中について、記載の統一のため適正化しました。(下線部参照) (旧)※:格納容器ベント実施基準とする原子炉建物酸素濃度… (新)注:格納容器ベント実施基準とする原子炉建物酸素濃度…	2023/4/28	
253	NS2-添1-065改05	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.4	資料追加に伴い、頁番号を修正しました。	2023/4/28	
254	NS2-添1-065改05	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.59,60	表8-9が次頁に跨ることから、次頁にも表題を記載し、それぞれ(1/2)(2/2)としました。	2023/4/28	
255	NS2-添1-065改05	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.61,62,64,68	電気配線貫通部の新形式に対する型式認定試験の結果を踏まえ、低圧用電気配線貫通部の一部モジュールに新形式のものを採用することとしたため、シール材の材質として従来のエポキシ樹脂及びEPDMに、SUS、セラミック、EPDMが追加となりました。 このため、「9.電気配線貫通部」にシール材の情報を追記しました。	2023/4/28	
256	NS2-添1-065改05	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.67	NUPECの読み替えに関する記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) (3) NUPEC試験の試験結果 NUPEC重要構造物安全評価(原子炉格納容器信頼性実証事業)(平成2年度～平成14年度)(以下「NUPEC試験」という。))において、… (新) (3) (財)原子力発電技術機構による試験結果を用いた評価 (財)原子力発電技術機構(以下「NUPEC」という。))による重要構造物安全評価(原子炉格納容器信頼性実証事業)(平成2年度～平成14年度)において、…	2023/4/28	